2021 年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　2022 年　　4 月　11 日
● 事　業　名　：　がん患者の就労移行と中小企業の両立支援
● 資金分配団体　：　公益財団法人日本対がん協会
● 実 行 団 体　：　特定非営利活動法人日本キャリア開発協会
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☐無

①　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
WEB サイト（がん患者が情報を得たり支援を受けるためのサイト）の構築	利用者数	WEB サイト完成後にモニターしていく（構築中）	2021 年度	https://www.j-cda.jp/about/hatarakikata/ribora.php 【実績】 対象期間：2021 年 4 月～2022 年 3 月末 平均 PV：255 回/月（最小 96 回/月、最大 504 回/月）平均滞在時間：135 秒 ※web サイトを改修し（掲載情報の充実、他団体の	3

				サイトとのリンク充実、これまでの活動の見える化等)、利用者数の向上に着手している。(2022 年 5 月公開予定)	
両立支援を担当するキャリアカウンセラーの育成	講習実施数、受講者数	24 講習/年、400 人/年	各年度末	https://www.j-cda.jp/seminar/consultant/seminar_review_kt04.php 技能講習（対象別キャリアコンサルティング）④キャリアコンサルタントに求められる仕事とがん治療の両立支援について 【実績】 対象期間：2021 年 4 月～2022 年 3 月 38 講習、受講者 658 人	1
がん患者プログラム（りぼら＝リハビリボランティア）の参加者数	①告知イベント参加者数、②りぼらプログラム実施数、③りぼらプログラム参加者数、	①150 人、②10 回、③60 人	2022 年度	https://www.j-cda.jp/about/hatarakikata/ribora.php 【実績】 対象期間：2021 年 4 月～2022 年 3 月 （2020 年 4 月～2022 年 3 月の累積） ① りぼら説明会参加人数：23 名（34 名） ② りぼらプログラム実施数：2 回（4 回） ③りぼらプログラム参加者数：13 名（28 名） ※来期にまたがる実施回分は当期実績に含めず	3

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
3.課題がある
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
①事業の意義（成果、進捗）について プログラム参加者に計 3 回のアンケート（プログラム実施前／終了時／3 か月後）を実施し、心理的な変化を調査したところ、以下の結果（一部抜粋）が得られた。※集計対象者：全 12 名（1～4 期プログラム参加者） a.）プログラム参加前後における就労状況の変化 求職中から就労（非正規含む）に転じた…３名　／無職から求職活動やボランティア活動に転じた　…2 名 b.）プログラム参加前後での心理的な変化について プログラム実施後、「他人を必要とすることをより受入れるようになった」という項目の上昇が、対象者の約 8 割にみられた。 さらに、プログラム運営担当者が、参加者の発言や表情の変化を観察している。（一部抜粋） ・「がんのことは職場には言いたくない」との発言から「経験を発信したい。今後、職場でり患者が出たときのお手本になりたい」との発言。 ・「がんになった自分を卑下していた」との発言から「ありのままの自分、がんになった自分を受け入れられるようになった」との発言。 ・「全く同じ境遇の人にしか話せない、分かってもらえないと思っていた」との発言から「会ったこともないし、家族でも友達でもないのに、何でも話せて、受け入れてもらえる安心安全の場があった」との発言。

以上より、本プログラムの参加により、当人の捉え方や周囲との関係構築に望ましい変化（当人にとって）をもたらす可能性が窺える。これは事業短期アウトカムに掲げる「キャリアの再構築」がもたらす効果と推測し、本プログラムの意義であろうと期待する。なお、ここでいう「キャリア」とは就労状況の如何に関わらず、社会生活を営む自身の在り様であり、生き方そのものであると考える。

②外部関係者と連携や協同したことによって生まれた成果

「治療と仕事の両立支援」を中小企業として先陣をきって取り組まれている、「株式会社松下産業」様に第 4 期プログラムに参画いただいた。さらに同社の代表取締役社長と人事部門長にインタビュー動画の収録にご協力いただき、両立支援の取組事例と企業プログラムの体験談を語っていただいた。その動画をがん患者と企業担当者を集めた就労支援イベントや、企業プログラムの参加を募るためのセミナー内で放映。松下産業様の先行事例や体験談の生のお声が他の企業担当者をはじめ、多くの関係者の啓発に役立っている。。

また同社から、当会のプログラムに参加されたがんサバイバーに向けて、求人のご相談を頂戴した。当会の事業特性上、求人斡旋に応じることは難しかったものの、同社が本プログラムにご参画いただいたことをきっかけに、求人候補としてがんサバイバーの存在を想い浮かべていただいたことは大きな成果であると感じる。同時に、松下産業様のように、がんサバイバーの就労機会の確保という社会課題に働きかけようとされる企業の存在を、社会に向けて有効に発信できる方策を検討していきたいと、気づきを頂いた。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

キャリアセミナー（グループワークショップ）、キャリアカウンセリング（個人面談）、しごと体験（リハビリ体験）のオンラインによる実施。

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

☑自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している
☐報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2.　広報　期間 2021 年 9 月～3 月、
1.　メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） ・公益財団法人日本対がん協会がんサバイバー・クラブ（https://www.gsclub.jp/）にて本事業が紹介された。 ・Peer Ring（https://peer-ring.com/tags/日本キャリア開発協会）にて本事業が紹介された。 ・JCDA ジャーナル 81 号（11 月 10 日・約 2 万部発行）にて本事業を紹介。添付資料① ・JCDA ジャーナル 82 号（ 2 月 25 日・約 2 万部発行）にて本事業を紹介。添付資料② ・JCDA ジャーナル 83 号（ 5 月 25 日・約 2 万部発行予定）にて本事業を紹介予定。添付資料③ 2.広報制作物等 ・2021 年 11 月 23 日オンラインイベント「がんになった経験を社会に活かそう～自分のため・誰かのため～」ホームページ制作 ・第 4 期りぼらプログラムご参画企業（株式会社松下産業様）との対談動画制作（全 4 部構成 合計約 100 分） ・企業プログラム参加募集のためのセミナー動画制作（合計約 90 分見込み　※編集中） ・自団体 web サイト内の事業専用ページの改修・再設計（2022 年 5 月完成見込み） ・事業宣伝チラシを東京商工会議所文京支部様に配架（50 部） 3.報告書等 ・2022 年 2 月 8 日休眠預金事業評価委員会にて、事業経過および患者プログラムのアンケート集計結果を報告　添付資料④ ・2022 年 3 月 22 日厚生労働省治療と仕事の両立支援室への活動報告にて本事業を報告　添付資料⑤ 3.　イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） ・2021 年 10 月 16 日　オンラインイベント「JCDA2 万人達成記念大会」実施（https://www.j-cda.jp/event-lp/2021/） ・2021 年 11 月 23 日　オンラインイベント「がんになった経験を社会に活かそう～自分のため・誰かのため～」実施 （https://www.j-cda.jp/event-lp/20211123event/）（共催：日本対がん協会様）**【参加者　患者：38 名　企業担当者：11 名】** イベント終了後、体験キャリアカウンセリングを実施【参加者：8 名】 厚生労働省、文京区、社会福祉法人文京区社会福祉協議会による後援名義を取得。添付資料⑥

文京区経済課より、区内企業に向けてチラシ（印刷物）を郵送頂いた。(1,000 社）添付資料⑦
文京区社会福祉協議会のフミコムメールマガジンにて告知（約 4,400 人）添付資料⑧

・2021 年 12 月 4 日　りぼらプログラム第 5 期参加者募集のための説明会　実施　【参加者：4 名】
・2022 年 2 月 5 日　りぼらプログラム第 6 期参加者募集のための説明会　実施　【参加者：4 名】
・2022 年 2 月 15 日　両立支援にまつわる企業向け情報提供＆情報交換会　実施　【参加：2 社】
・2022 年 3 月 31 日　がん治療と仕事の両立に向けたキャリアカウンセラーによる無料オンラインイベント　実施　【参加者：8 名】
対がん協会メルマガでの周知
文京区社会福祉協議会メールマガジン「フミコム」での告知(約 4,400 人)添付資料⑨

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☐完了　☑整備中　該当なし
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☐全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☐はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：該当なし

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。

☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☐はい　　☑いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☐内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：　問題視される事案が生じていないため。（定期的な申告制度はないが、利益相反の可能性がある事案があった場合は理事会にて審議する。）
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：議事となる（問題視される）事案等が生じていないため。（定期的なコンプライアンス委員会の開催はないが、違反の可能性がある事案があった場合は理事会にて審議する。）
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

2021.11.23　オンライン・就労イベント
がんになった経験を
社会に活かそう
～自分のため・誰かのため～
りぼら
JCDA治療と仕事両立支援事業
公益財団法人日本対がん協会、特定非営利活動法人日本キャリア開発協会（JCDA）共催
後援：厚生労働省、文京区、社会福祉法人文京区社会福祉協議会